

収支報告について(初級編)
慈恵園の
収入・支出・差額を理解しよう

まちづくり事業部 まちづくり経営係
業務係長 鈴木 章夫

経営するには資金が必要

◎運営(経営)には経費がかかります

①芦別慈恵園が事業を継続するため

(例:食材、光熱費)

②お客様の暮らしを守るため

(例:紙オムツ、日用品、寝具(リネン))

③職員の生活を守るため

(例:給与、賞与、手当、社会保険)

なぜ収支が大事なのか

収支とは・・・収入-支出=資金収支差額

- ・プラスにして人件費・事業費の支払いが出来ること
- ・将来の貯蓄が必要⇒建物の修繕、備品購入など
- ・マイナスが続けば「**破産=倒産**」してしまう
⇒慈恵園が無くなってしまう(芦別市民が困る)

**金額のケタは大きいが、
考え方は家庭のお財布と同じです。**

慈恵園の貯金はいくらあるの？

	建設積立	人件費積立	施設整備	修繕積立	合計
平成26年	6400万	1600万	5000万	3000万	1億 6000万
平成27年	6400万	1600万	3400万	3000万	1億 4400万
平成28年	6400万	1600万	3400万	350万	1億 1750万
平成29年	1400万	1600万	3400万	350万	6750万

H28きらら・ほたる改修工事

改修費用	24,624,000円
補助金	13,608,000円
自己資金	11,016,000円
※追加工事	1,962,360円
持ちだし合計	12,978,360円

【追加工事の内容】

廊下床の張替え、従来型個室床張替え、
ユニット玄関設置、鏡の設置

H29サ高住工事

改修費用	5,500万円
補助金	1,000万円
自己資金	4,500万円

貯金がさらに少なくなってしまう・・・

なぜ取り崩してまで・・・

- 待機者が減少している
- 芦別市から他市の施設に入居
- 国の個室化の方針(プライバシーが保たれないといけない)

資金がある今、動かないと

改修できない時がきてしまう

⇒特養の定員が埋まらない可能性

- **事業を行う**
- **貯金を取り崩す**

全て

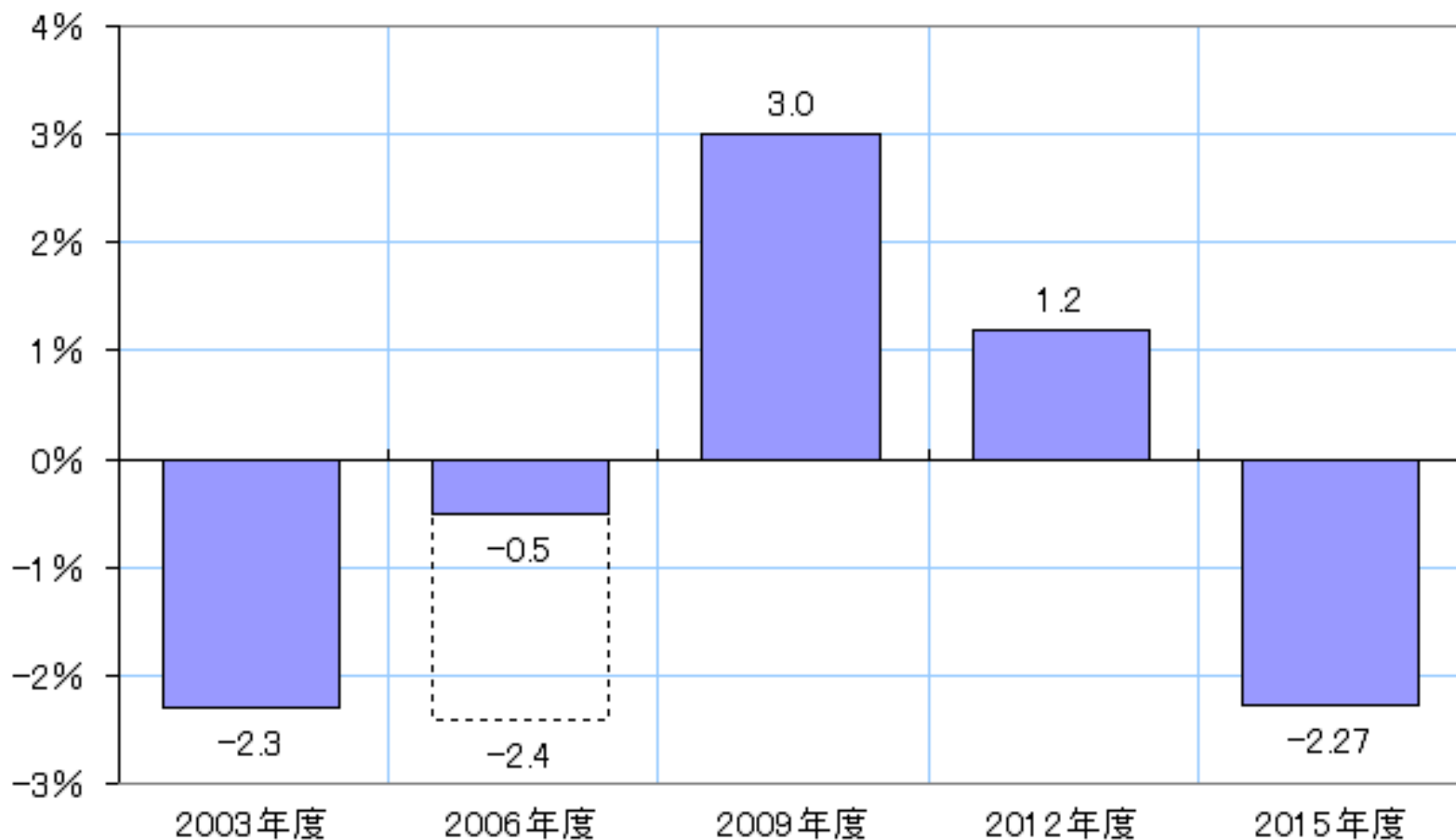
理事会の承認が必要

収支差額の推移

	収入	支出	収支差額
平成20年	5億9900万	5億5300万	4600万
平成21年	6億2800万	5億7000万	5800万
平成22年	6億5700万	6億1000万	4700万
平成23年	6億5800万	6億2100万	3700万
平成24年	6億5000万	6億2500万	2500万
平成25年	6億4300万	6億1900万	2400万
平成26年	6億3100万	5億8800万	4300万
平成27年	6億800万	6億1500万	▲700万
平成28年	5億9900万	5億8800万	1100万
平成29年(見込)	5億4000万	5億5500万	▲1500万

介護報酬は変動する

介護報酬の改定率の推移



(注) 2006年度の点線は2005年度改定を含めた数字 (資料) 東京新聞2015年1月5日、1月12日

介護報酬は3年ごとに見直しされる

改定年度	改定率 (%)	備考
2003年度	-2.3	「在宅重視・自立支援」を進めるため、訪問介護などの在宅サービスは平均0.1%の引き上げ、特別養護老人ホームなどの施設サービスは平均4%の引き下げ
2006年度	-0.5	2005年度改定を含めると-2.4%。介護の必要性が高い中重度者向けの在宅サービスの報酬を手厚くし、軽度者向けサービスの報酬を減らした
2009年度	3.0	介護従事者の人材確保・処遇改善へ向けた改定。在宅分1.7%、施設分1.3%
2012年度	1.2	介護職員処遇改善加算+2%を除くと-0.8%。在宅や重度の要介護者向けサービスに重点配分。例えば、自宅に帰る人を増やしたり、新しい高齢者を多く受け入れたたりした老健ほど報酬を加算

収支差額の推移

	収入	支出	収支差額
平成20年(2008)	5億9900万	5億5300万	4600万
平成21年(2009)	平成21年～平成23年 +3%		
平成22年(2010)			
平成23年(2011)			
平成24年(2012)	平成24年～平成26年 +1.2% (-1.8%)		
平成25年(2013)			
平成26年(2014)			
平成27年(2015)	平成27年～平成29年 -2.27%		
平成28年(2016)			
平成29年(2017)			

処遇改善加算は収入であり**支出**

	収入	+	処遇改善加算	=	合計
平成21年度					6億2800万
平成22年度					6億5700万
平成23年度					6億5800万
平成24年度					6億5000万
平成25年度					6億4300万
平成26年度					6億3100万
平成27年度					6億800万
平成28年度					5億9900万
平成29年度					5億4000万

もう一度・・・収支差額について

	収入	支出	収支差額	人件費率	総職員数
平成20年	5億9900万	5億5300万	4600万	62%	122
平成21年	6億2800万	5億7000万	5800万	62%	124
平成22年	6億5700万	6億1000万	4700万	63%	127
平成23年	6億5800万	6億2100万	3700万	63%	122
平成24年	6億5000万	6億2500万	2500万	65%	126
平成25年	6億4300万	6億1900万	2400万	64%	128
平成26年	6億3100万	5億8800万	4300万	63%	116
平成27年	6億800万	6億1500万	▲700万		117
平成28年	5億9900万	5億8800万	1100万		114
平成29年	5億4000万	5億5500万	▲1500万		117

人件費の推移

	収入	支出	人件費	人件費率
平成20年	5億9900万	5億5300万	3億7200万	62%
平成21年	6億2800万	5億7000万	3億9100万	62%
平成22年	6億5700万	6億1000万	4億1700万	63%
平成23年	6億5800万	6億2100万	4億1700万	63%
平成24年	6億5000万	6億2500万	4億2600万	65%
平成25年	6億4300万	6億1900万	4億1700万	64%
平成26年	6億3100万	5億8800万	3億9900万	63%
平成27年	6億800万	6億1500万	4億2300万	69%
平成28年	5億9900万	5億8800万	3億9100万	65%
平成29年	5億4000万	5億5500万	3億7100万	68%

制度が変わる=経営も変わる

- ・改定により介護報酬は増減する
- ・お客様のニーズも変化する

⇒柔軟に変化していかないと、

施設も生き残る事ができない時代・・・

だから、

デイの定員が減ったり、地域密着型になったり・・・

サ高住の計画をすすめたり

制度が変わる=働き方も変わる

慈恵園のケアワーカーの職員配置

一番多い時⇒1.9:1

しかし、国の基準は 3:1で良い
⇒慈恵園は、現在は2.6~2.7
(適正な人数が求められる)

介護報酬も3:1分しか含まれていない
⇒上回る基準を配置するという事は、

経営が危なくなる・・・キケンのサイン

入院はケアワーカーも大変

入院すると

- ・新規入居
- ・緊急ショート
- ・お客様の引越

退院しても

- ・ケアモーからの取組みに
- ・元気がない

**だからこそ、入院しないための身体づくり
入院が少ないと経営も安定、職員も安定**

制度が変わる=働き方も変わる

稼働管理

⇒入院しない身体づくり、空床ベッドの活用

業務の見直し

⇒時間外しない、仕事のスケジュール化

**慈恵園の使命=芦別市民の生活を守ること
だから、絶対に倒産はできない！！**

芦別に

たったひとつしかない

特養

芦別慈恵園を

皆で支えましょう